⑤ 内装改修工事

⑰ビニル幅木

材質　・硬質　・軟質　⊙既存同仕様　(6.8.2)
厚さ　※1.5mm以上　・　高さ(mm)　※60　・75　・100　⊙既存同仕様

18ゴム床タイル

色柄　(　)　(6.8.2)
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)(　)

19カーペット敷き

・織じゅうたん　(6.9.2)(表6.9.1)

種別	パイル形状	帯電性	織り方	色柄等	備考
・A種 ・B種 ・C種	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	※人体帯電圧3kv以下	・ウェルトカーペット ・タフトカーペット ・アキスミンスターカーペット	・無地 ・柄物 (標準品)	

下敷き材　※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・

・タフテッドカーペット　(6.9.2～3)

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法	※人体帯電圧3kv以下	
・ループパイル	※4～6　・	・グリッパー工法	・	
・レベルループパイル	※4　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材　※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・

・ニードルパンチカーペット　厚さ(mm)　・　(6.9.2)
帯電性　※人体帯電圧3kv以下　・

・タイルカーペット　(6.9.2)

パイル形状	種別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

帯電性　※人体帯電圧3kv以下　・
タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　・市松敷き　※模様流し　・
見切り、押え金物の材質、形状等　※図示
タフテッドカーペットのグリッパー工法の適用　※有　・無　(6.9.3)

20合成樹脂塗床　(6.10.2～3)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			
・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)			工程 塗布量(kg/m2) ・ 表面仕上げ ・平滑　・防滑 溶剤 ・水性色・溶剤系・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色　・

塗料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

21フローリング張り

・単層フローリング　(6.11.2～7)

種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	間伐材等の適用	工法	仕上塗装
・フローリングボード	※なら ・	・15	幅　75 長さ500以上	・	・釘留工法 (根太張り工法) ・釘留工法 (直張り工法) ・接着工法	・塗装品 ・無塗装品
・フローリングブロック	※なら ・	・15 ・	※303×303 ・	・	・湿式工法 ・接着工法	・塗装品 ・無塗装品
・モザイクパーケット				・	・接着工法	・塗装品 ・無塗装品

天然木化粧複合フローリング　(6.11.2～7)

種類	樹種	種別	防湿処理	間伐材等の適用	工法	仕上塗装
・複合1種フローリング ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・行う	・	・釘留工法 (根太張り工法) ・釘留工法 (直張り工法) ・接着工法 ・張断材 ※合成樹脂発泡シート ・	・塗装品 ・無塗装品

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(6.11.2)
現場塗装　・行う　施工面所(　)　(6.11.7)
※ウレタン樹脂ワニス塗り　・オイルステインの上、ワックス塗り　・生地のままワックス塗り

22畳敷き

種別　(6.12.2)(表6.12.1)
・A種　・B種　・C種　・D種(畳床KT-　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・K　・N)

㉔せっこうボード その他ボード 及び合板張り

(6.13.2)(表6.13.1)

種類	JIS記号	略号	厚さ(mm)、規格等
⊙せっこうボード	GB-R	GB-R	・9.5(準不燃) ※12.5(不燃)　・15(不燃)
⊙化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	GB-D(T)	※9.5(準不燃)　・
・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	GB-D(W)	※12.5(不燃)　・ 模様(※柾目・板目)
・不燃積層せっこうボード (化粧無)	GB-NC	GB-NC	(下張用) ※9.5(不燃)　・
・不燃積層せっこうボード (化粧有)	GB-NC	GB-NC(T)	(トラバーチン模様) ※9.5(不燃)　・
・シージングせっこうボード	GB-S	GB-S	・12.5(不燃)　・
・強化せっこうボード	GB-F	GB-F	・12.5(不燃)　・15(不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	GB-L	※9.5(不燃)　・
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	FK 化粧FK	タイプ2(無石綿) ・6(不燃)　・8(不燃)
・けい酸カルシウム板 (化粧有)			タイプ2(無石綿) ・6(不燃)　・8(不燃)
・ロックウール化粧吸音板	DR	DR	※フラットタイプ　※9(不燃)　・12(不燃)) ・凹凸タイプ　(※12(不燃)　・15(不燃))
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	RW-B	・25　・
・グラスウール吸音ボード 1号32K	GW-B	GW-B	・25(ガラスクロス包)　・ 固定方法：化粧ボタン止め(縦横300程度)
・硬質木毛セメント板 6	HW	HW	・15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板 6	MW	MW	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 6	NW	NW	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板 6	HF	HF	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片セメント板 6	NF	NF	・30　・
・天然木化粧合板 6			樹種名　(・　) 接着程度　(・1類　・2類) 厚さ(mm)　(・　)
・特殊加工化粧合板 6			・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理 化粧加工の方法 (・オーバーレイ　・プリント・塗装) 表面性能　(　)タイプ 接着程度　(・1類　・2類) 厚さ(mm)　(・　) ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・普通合板 6			表面の材種 ・生地、透明塗料塗り(ラワン合板程度) ・不透明塗料塗り(しな合板程度) 板面の品質　(　) 接着程度　(・1類　・2類) 厚さ(mm)　(・　) ・防虫処理　・難燃処理　・防炎処理
・メラミン樹脂化粧板			JIS K 6903による　(※1.2　・　)
・ポリエステル樹脂化粧板			
・ミディアムデンシティファイバーボード 6	MDF	MDF	・3　・7　・9　・12　・
・ハードボード(素地) 6	HB	HB	・未研磨板(・スタンダード　・テンパード) ・研磨板(・スタンダード　・テンパード)
・ハードボード(化粧) 6			・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード 6	IB	IB	A級(・天井仕上　・内装仕上　・　) ・9　・12　・15　・18
・単板張りパーティクルボード 6			・未研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18
・化粧パーティクルボード 6			・単板オーバーレイ　・プラスチックオーバーレイ　・塗装 ・10(難燃)　・12(難燃)　・

遮音シール材　・適用する(・シーリング材　・ジョイントコンパウンド)　(6.13.2)
合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　(6.13.2)
※規制対象外　・第三種
合板類の張付け　・A種　※B種　(6.13.3)
石膏ボードの目地工法等　※仕上表による　・　(6.13.3)

㉖壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　(6.14.2)

施工箇所	壁紙の種類 紙	織維	プラスチック	無機質	繊維の他	防火種別	備考
図示	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	⊙既存同仕様
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

下地調整　せっこうボード面　・RA種　※RB種　・RC種　(6.14.3)
コンクリート・ALC面　・RA種　※RB種　・RC種
モルタル・プラスター面　・RA種　※RB種　・RC種

25モルタル塗り

吸水調整材は、改修工事標準仕様書4.2.2による　(6.15.3、6)
既製目地材　※適用する　・適用しない
既製目地材形状　※図示
床目地　・設ける(工法　※押し目地　・　)
・防水剤　(6.15.6)
(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

26タイル

伸縮調整目地の位置　(6.16.2～4)
床タイル(※縦、横とも4mは内ごと　・図示　・　)
床タイル以外(・図示　・　)

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等

主な用途による区分施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分 I	II	III	耐凍害性による区分	耐摩耗性による区分	耐薬品性による区分	特殊な性能	適用箇所 屋内	屋外	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない

27セルフレベリング材塗り

・既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

・既製調合目地材
(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

・接着剤による陶磁器質タイル張り
タイルの形状、寸法等

主な用途による区分施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分 I	II	III	耐凍害性による区分	耐摩耗性による区分	耐薬品性による区分	特殊な性能	適用箇所 屋内	屋外	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない
内装壁タイル接着材張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

・せっこう系　塗厚(　)mm　・セメント系　塗厚(　)mm　(6.17.2)(表6.17.1)

7 建築改修工事

1材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(7.1.3)
※規制対象外　・
・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする(施所:　)

2下地調整

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲　※塗替え面積の30%　・図示　・　(7.2.1)

下地調整　(7.2.2～7)(表7.2.1～7)

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	新規	ひび割れ部の補修
木部	・RA種※RB種・RC種	・RA種　・RB種	・
鉄鋼面	・RA種※RB種・RC種	RA種	
亜鉛めっき鋼面	・RA種※RB種・RC種	RA種	
亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	・RA種※RB種・RC種	RC種	
モルタル面、プラスター面	・RA種※RB種・RC種	・RA種　・RB種	・
コンクリート面(DP以外) ALCパネル面	・RA種※RB種・RC種	RA種	・行う
コンクリート面(DP) 押出成形セメント板面	・RA種・RB種・RC種	RA種	・行う
石こうボード面、その他ボード面	・RA種※RB種・RC種	・RA種　・RB種	

3錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別　(7.3.2～3)(表7.3.1～4)

		塗装面	塗料	工程
鉄鋼面	屋外又は屋内(EP-G以外)	塗替え	※A種	※C種　・
		新規：見え掛り部分		※A種　・
		新規：見え隠れ部分		※B種　・
	屋内(EP-G)	塗替え	※B種	※C種　・
		新規：見え掛り部分		※A種　・
		新規：見え隠れ部分		※B種　・
亜鉛めっき面鋼面	屋外又は屋内(EP-G以外)	塗替え	※A種　・B種	※C種　・
		新規鉄鋼面(建具以外)	※A種　・B種	※C種　・
		鋼製建具	※A種　・B種	※A種　・
	屋内(EP-G)	塗替え	※C種	※C種　・
		新規鉄鋼面(建具以外)	※C種	※A種　・
		鋼製建具	※C種	※A種　・

4塗装

(7.4.2～7.15.2)(表7.4.1～7.15.1)

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 種類　※1種 ・	木部(外部) 木部(内部) 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具	※B種　・ ※B種　・ ※B種　・ ※B種　・ ※A種　・	※A種　・ ※B種　・ ※B種　・ ※B種　・ ※B種　・
・クリアラッカー塗り(CL)	木部	・A種　※B種	・A種　※B種
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)	屋内の木部、鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	—	—
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	屋内のコンクリート面、モルタル面	※B種　・	※B種　・
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り ・1級 ・2級 ・3級	・A種 ・B種 ・C種	※A種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り ・1級 ・2級 ・3級	・A種 ・B種 ・C種	※A種
	コンクリート面	・A-1種　・A-2種 ・B-1種　・B-2種 ・C-1種　・C-2種	
	押出成形セメント板面	・A-1種　・A-2種 ・B-1種　・B-2種 ・C-1種　・C-2種	
・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	屋内木部	※B種　・	※A種　・
	屋内鉄鋼面	※B種　・	・A種　※B種
	屋内亜鉛めっき鋼面	※B種　・	・A種　※B種
	コンクリート面	※B種　・	・A種　※B種
	モルタル面	※B種　・	・A種　※B種
	プラスター面	※B種　・	・A種　※B種
	せっこうボード面	※B種　・	・A種　※B種
	塗装面	※B種　・	・A種　※B種
	コンクリート面	※B種　・	・A種　※B種
	モルタル面	※B種　・	・A種　※B種
	プラスター面	※B種　・	・A種　※B種
・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)	せっこうボード面	※B種　・	・A種　※B種
	塗装面	※B種　・	・A種　※B種
	コンクリート面	※B種　・	・A種　※B種
	モルタル面	※B種　・	・A種　※B種
	プラスター面	※B種　・	・A種　※B種
	せっこうボード面	※B種　・	・A種　※B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)	屋内コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、木部等	・A種 ※B種 ・C種	・A種　※B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	木部 ・1液形　・2液形	・A種　※B種	・A種　※B種
・ラッカーエナメル塗り(LE)	木部	・A種　※B種	・A種　※B種
・オイルステイン塗り(OS)			
・木材保護塗料塗り(WP)	木部	・A種　※B種	・A種　※B種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗装又の場合のしみ止め
※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする

9 環境配慮改修工事

1アスベスト含有建材の処理工事

施工調査　分析によるアスベスト含有建材の調査　・行う　・行わない　(9.1.1)
分析方法　※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
・
分析方法結果については監督員に報告すること。
(箇所あたり3試料)

材料名	定性分析	定量分析
	・(箇所数：　)	・(箇所数：　)
	・(箇所数：　)	・(箇所数：　)
	・(箇所数：　)	・(箇所数：　)
	・(箇所数：　)	・(箇所数：　)

※採取箇所については、図示による。

アスベスト粉じん濃度測定　・行う　・行わない
測定室(　)

[屋内改修用]

適用	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考
・	処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1
		測定2	調査対象室外部の付近	計2点	大気
・	処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1
・		測定4	負圧・粉塵装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の各位置2点	—
・		測定5	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	—
・	処理作業後(シート撤去中)	測定6	処理作業室内	計2点	—
・	処理作業後(シート撤去後	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	(注)1
・	1週間以降	測定8	調査対象室外部の付近	計2点	大気

注1　各施工箇所ごとの室面積が50m2以下までは2点、300m2以下までは3点とする。
300m2を超えるものは、監督員と協議する。

[屋外改修用・解体工事用]

適用	測定時期	測定名称	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考
・	作業前	測定1	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	
・	作業中	測定2	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	
・	処理作業後	測定3	処理作業室外	4方向各1点(敷地境界)	

アスベスト粉塵濃度測定方法

	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1ℓ/min	5ℓ/min	10ℓ/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	アセトンートリアセチン法又はシュウ酸ジメチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比3：1以上		
定量限界	50f/ℓ	0.5f/ℓ	0.3f/ℓ

アスベスト含有建材の処理
・アスベスト含有吹付け材の除去　(9.1.3)
除去対象範囲　※図示
除去工法　※改修標準仕様書9.1.3(b)(1)による。
・
除去したアスベスト含有吹付け材等飛散防止　※密封処理　※湿潤化　・セメント固化等
厚さ(　mm)　処理範囲(※図示(約　m2))
処分方法　・埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融、無害化処理)

・アスベスト含有保温材等の除去　(9.1.4)
除去対象範囲　※図示　・
作業場の隔離　・行う
処分方法　・埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融、無害化処理)

・アスベスト含有成形板の除去　(9.1.5)
除去対象範囲　※図示
処分方法
せっこうボード　※埋立処分(管理型最終処分場)
せっこうボード以外
・埋立処分(安定型最終処分場)・中間処理(溶融、無害化処理)

2 断熱アスファルト防水改修工事

改修特記仕様書3章による (9.2.1～3)

3 外断熱改修工事 G

断熱材 (9.3.2～4)

種類		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		
・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)	・保温板(2種b)	
	・保温板(3種b)	
・A種硬質ウレタンフォーム保温材		
・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)		
・ロックウール		
・グラスウール		

施工箇所 ・図示 ・

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

外装材

種類	防火性能	備考
・		

既存外壁の措置

既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし

下地面の清掃 ・行う ・行わない

欠損部の改修工法 ・改修標準仕様書4.1.4による ・

工法

通気層の有無 ・あり(mm) ・なし

断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による ・

外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法)

・適用しない

4 ガラス改修工事

複層ガラス (9.4.2)

品類	断熱性	日射熱遮へい性	厚さ
・断熱複層ガラス	・1種	U1	・図示
	・2種	U2	・
	・3種	・U-3-1 ・U-3-2	
・			

5 断熱・防露改修工事 G

断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ (9.5.2)

断熱材の打込み及び張付け

	施工方法の種類	種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材				・
※押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)	A種	・保温板(2種b)	・25 ・	※一般部 ・
		・保温板(3種b)	・25 ・	・接地部分 ・
		・		・
・硬質ウレタンフォーム保温材	※A種			・
・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)	A種			・

・断熱材現場発泡工法 (9.5.3)

断熱材の種類 ※A種1 ・B種1

厚さ(mm) ・25 ・30 ・

施工箇所 ※図示 ・

・現場発泡断熱材

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

6 屋上緑化改修工事 G

植栽基盤及び材料 (9.6.2)

・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・

見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 ・

支柱 ・設置する (種類 ・図示 ・)

かん水装置 ・設置する(種類・ ・)

既存保護層の撤去 ・行う

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)

・適用しない

7 透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲:歩道 (9.7.2、3、5～9)

既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・

路床

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・	・図示 ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示 ・

路床安定処理

※添加材料による安定処理

種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 G

・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号)

添加量 kg/m3(目標CBR ・5以上 ・)

・ジオテキスタイル

単位面積質量 ・60g/m2以上 ・

厚さ(mm) ・0.5～1.0 ・

引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・

透水係数 ・1.5×10cm/sec^-1以上 ・

試験

砂の粒度試験 ・行う ・行わない

路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない

路床締固め度の試験 ・行う ・行わない

8 路面表示用塗料

路盤

路盤の構成及び厚さ ・図示 ・

路盤材料 ※再生材のクラッシャラン G ・クラッシャラン鉄鋼スラグ G

試験

路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない

舗装

材料	厚さ(mm)
ストレートアスファルト	・図示 ・

試験

透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない

舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・

(JIS K 5665(路面表示用塗料)による)

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種	常温	液状	※ 白	・150	※1.0	塗料総質量に対して5%以下
・2種	加熱		・	・100	・	
※3種 1号	溶融	粉体状				

10 コンクリートおよびその他の仕上げ

1 フリーアクセスフロア [20.2.2]

構造	仕上り高(mm)	寸法(mm)	許容水平力	耐荷重性能
・パネル構法 ・溝構法	・100	・500x500 ・600x600 ・	・0.6G(地下及び1階) 1.0G(2階以上) ・1.0G(すべて)	・3.000N ・5.000N
・	・	・	・	・

表面仕上材は仕上げ表、品質・性能は標準仕様書19章による。

構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 ・

スロープ及びポーチ ・製造所の仕様による ・図示

配線用取り出しパネル

フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20～30% ・

配線取り出し開口 ・パネル枚につき40mmx80mm程度の開口1ヶ所以上 ・図示

(性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

2 可動間仕切 [20.2.3]

構造形式	総厚さ(mm)	表面材 材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ	遮音性	防火性能
・スタッドパネル式 ・スタッドパネル式 ・パネル式		・鋼板 ・	・0.6 ・0.8	・メラミン樹脂焼付または アクリル樹脂焼付 ・焼付塗装	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示 ・) ・なし

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

3 移動間仕切 [20.2.4]

走行方向	操作方法	圧接装置の操作方法	厚さ(mm)	表面材の材質	仕上げ	遮音性
・平行方向移動式	・手動式	・プッシュ式		・鋼板	・焼付塗装	・36未満
・二方向移動式	・電動式	・ハンドル回転式		・	・壁紙張り	・36以上
	・部分電動式	・			・	

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質 標準仕様書19章による

遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする

ハンガーレールの取付け下地の補強

※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない剛力及び変形量となるように補強する

・図示

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

4 トイレブース [20.2.5]

表面材の材質	扉部 形状	扉部 材質	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・ ・	・帯木 ・支柱 ・なし	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・	・標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

5 階段滑り止め [20.2.6]

材種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製(SUS304)	・約35	※接着工法	・有り(・ビニル製 ・ステンレス製)
ビニルタイル入り	・	・埋込み工法	・無し

6 黒板 ホワイトボード [20.2.8]

種類		寸法(mm)	色彩	形式	
・黒板	※流付け		※緑 ・黒	・平面 ・曲面	・スクリーン付き引分け
・帽	・ほうろう		・白	・平面 ・曲面	・スクリーン付き引分け

7 表示 [20.2.10]

区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考
・衝突防止表示 (・両面 ・片面)	・ステンレス製 ・図示	※30φ ・	※市販品 ・	※図示 ・	
・室名札 ・ピクトグラフ ・とびら番号	・アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
・庁舎案内板 ・各階案内板 ・	・アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	

案内用図記号はJIS Z8210による

8 ブラインド [20.2.12]

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材種	寸法、取付箇所
・横形	・電動		※アルミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	※図示 ・
	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式				
・縦形	・電動		・アルミスラット	・80	・アルミニウム合金製 ・	※図示 ・
	・手動	※1本操作コード式 2本操作コード式	・クロススラット	・100		

9 ロールスクリーン

操作方法 ・プルコード式 ・チェーン式 ・電動式 [20.2.13]

生地材種 ・無地 ・柄物 ・遮光

10 カーテンおよびカーテンレール [20.2.14]

ひだの種類	形式	開閉操作	取付箇所	備考
・フランスひだ ・箱ひだ・つまみひだ ・プレーンひだ・片ひだ	・シングル ・ダブル	・電動 ・ひも引き ・手引き	※図示 ・	
・				(暖幕)
・				

カーテンレール

材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・ ・ [20.2.14]

形 式 ・片引き ・引分け(暖幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)

形 状 ・C型 ・D型 ※角形 ・

11 ブラインドボックス及びカーテンボックス

積幅x深さ(mm) ・90x150 ・120x80 ・120x150 ・150x80 ・図示

材質 ・集成材(仕上:)

・アルミニウム製 表面処理(・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2)

(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)

12 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

13 床点検口

材種	寸法	形式	
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・鋳鉄製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・屋内用

一般形:パッキンを装着しないもの、又はがたつき防止用パッキンを装着したもの

密閉形:ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したもの

(品質・性能・試験方法)建築材料等品質性能表による

14 天井見切り縁 材種 ・塩化ビニル製 ・アルミニウム製

15 流し台・コンロ台 吊戸棚 製品 ・優良住宅部品(BL製品) ・非BL製品

トップ材質 ・ステンレス ・

16 水切り棚 材質 ※ステンレス製(SUS304) 市販品 ・

17 洗面カウンター 材質 ※人工大理石 ・メラミン樹脂化粧板(心材:集成材)

形状 ※図示

奥行き ・約450mm ・約600mm ・図示

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

18 木製造付け家具 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

材料に合板、集成材を使用する場合は、内装工事のせっこうボード、その他ボード及び合板張りによる

19 旗竿 材種及び形式 アルミニウム製テーパー付き(※ハンドル式 ・ロープ式)

据付 ※埋込式 ・ベース式

設定風速 ※60m/sec(地上用)

20 車止めさく

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)	備考
・上下式鎖内蔵式	・ステンレス製	・φ76.3 t=2.0	・GL+700	
(・標準品 ・スプリング式) ・	・ ・	・ ・	・ ・	

21 フェンス フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス

・アルミフェンス ・

高さ ・図示 ・

22 敷地境界石標 種類 ※コンクリートブロック製(市販品) ・花こう石類(文字記号等入り)

設置方法

根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。建て込みは監督員の立ち会いのもと行う。

コンクリートの調合 容積比 セメント1:砂2:砂利4程度

別表

材料名称

・仮設工事
・
・
・防水改修工事
・防水材
・断熱材、接着剤
・シーリング材
・長尺金属板
・折板
・粘土瓦
・とい
・
・
・外壁改修工事
・外壁改修材
・外壁仕上塗材
・
・
・建具改修工事
・アルミ製、鋼製建具
・木製建具
・建具用金物
・ガラス
・シャッター
・
・
・内壁改修工事
・木材
・集成材
・軽量鉄骨天井下地
・軽量鉄骨壁下地
・あと施工アンカー
・ビニル床シート
・カーペット
・合成樹脂塗床材
・フローリング
・畳
・せっこうボード
・壁紙
・断熱、防露材
・モルタル
・セルフレベリング材
・タイル
・タイル張付け用材料
・
・
・塗装改修工事
・塗料
・
・
・環境配慮改修工事
・
・
・ユニット、その他工事
・フリーアクセスフロア
・可動間仕切
・トイレブース
・
・
・耐震改修工事
※鉄筋
・溶接金網
・スリーブ補強筋(既製品)
・型枠
・特殊型枠(フラットデッキ他)
※コンクリート
・セメント
・骨材
・水
・混和材
※鋼材
・高力ボルト、普通ボルト
・アンカーボルト
・スタッド
・デッキプレート
・溶接材料
・耐火被覆材
・溶融亜鉛めっき
・
・
・

監督員の検査を受けて使用すべきとされた材料であっても、設計図書に定めるJIS又はJASのマーク表示ののある材料並びに規格、基準等の規格証明書が添付された材料で、監督員の承諾を受けた場合は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとして、取り扱うことができる。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

東京都品川区上大崎2-25-2 株式会社 横河建築設計事務所 一級建築士登録 第210615号 長浦 雅人
東京都品川区上大崎2-25-2 株式会社 横河建築設計事務所 一級建築士登録 第233442号 和田 雅彦
東京都品川区上大崎2-25-2 株式会社 横河建築設計事務所 一級建築士登録 第307492号 梠 洋典 之

: 2014. 09. 26

平成26年度静岡県立総合病院(仮称)カルテ庫棟新築工事

建築 改修特記仕様書 (5)

A1:- A3:-

A－ 14

8-1 建築改修工事(鉄筋工事)

1 鉄筋

鉄筋の種類 (8.2.1)(表8.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295A	※D16以下	JIS G 3112
・SD345	※D19以上	JIS G 3112
・SR235	※ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋全ての径	JIS G 3112
・SS400	※ｽﾀｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄ	JIS B 1198

2 溶接金網

形状等 (8.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3 継手及び定着

継手方法等 (8.3.4)(8.4.2)

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ｶﾞｽ圧接　・機械式継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	
その他の鉄筋(　　)	・重ね継手　・	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ (8.3.4)
・40d(軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの場合は50d)と標準仕様書表5.3.2の大きい方の値
・図示による(　　)

柱に取り付ける梁の引張り鉄筋定着長さ
・標準仕様書表5.3.4
・図示による(　　)

その他鉄筋の定着方法及び定着の長さ (8.3.4)
・図示による(　　)

その他鉄筋の継ぎ手位置 (8.3.4)
・図示による(　　)

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)

※最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (8.3.5)(表8.3.6)

軽量ｺﾝｸﾘｰﾄで土に接する部分　・無し
・有り　適用箇所(　　)
・標準仕様書表5.3.6に加える厚さ　(　　)mm

耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・無し
・有り　適用箇所(　　)
・標準仕様書表5.3.6に加える厚さ　(　　)mm

5 機械式継手及び溶接継手

使用箇所 (8.4.2)
※図示による(　　)
性能(H12建告第1463号に適合するもの) (8.4.2)
・A級　・
機械式継手の種類(　　) (8.4.2)
鉄筋相互のあき (8.3.5)
・図示による(　　)　・標準仕様書8.3.5(d)による
品質の確認方法 (8.4.2)
・図示による
不良となった継手の修正方法等 (8.4.2)
・図示による(　　)

6 圧接完了後の試験

外観試験　※行う(全数) (8.3.8)

抜取試験　※超音波探傷試験
試験の箇所数等　・標準仕様書[5.4.9]、[5.4.10]による　・
・引張試験
試験片の採取数は、1ﾛｯﾄに対して(※3本　・　　)とする
試験ﾛｯﾄ：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。
試験片を採取した箇所の処置：ｶﾞｽ圧接

8-2 建築改修工事(コンクリート工事)

1 レディーミクストコンクリート製造工場

※品質管理監督検査合格工場(○適ﾏｰｸ取得工場)

2 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度

普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 (8.1.3)(8.1.4)[6.2.4][表6.2.2]

設計基準強度(N/mm2)	ｽﾗﾝﾌﾟ	適用箇所
・21	※18cm	※耐震補強壁
・24	※18cm	※耐震補強壁
・21　・24	※21cm	※圧入工法による開口閉塞部分

軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 (8.1.3)(8.10.3)[6.2.4][表6.2.2]

設計基準強度(N/mm2)	ｽﾗﾝﾌﾟ	適用箇所
・	・	
・	・	

3 コンクリート種別

種別 (8.1.3)
※Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたｺﾝｸﾘｰﾄ)
・Ⅱ類(JIS A 5308に適合したｺﾝｸﾘｰﾄ)

4 気乾単位容積質量

普通ｺﾝｸﾘｰﾄ　・2.3t/m3程度　・ [6.2.3]
軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ　・1.6t/m3程度　・1.95t/m3程度　・ (8.9.2)

5 コンクリートの仕上り

部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (8.1.4)(表8.1.2)
・標準仕様書　表8.1.2による　・

合板せき板を用いるｺﾝｸﾘｰﾄの打放し仕上げ

種別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

6 セメント

種類 (8.2.5)[6.13.2](表8.2.3)
※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ又は混合ｾﾒﾝﾄのA種
普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
・高炉ｾﾒﾝﾄB種 ☐
・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種 ☐
・

7 骨材

ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分　※A　・B (8.2.5)

8 混和材料

(8.2.5)
※混和剤の適用(・AE減水剤　※高性能AE減水剤(開口閉塞圧入部分)　)
・混和材の適用(ﾌﾗｲｱｯｼｭⅠ種又はⅡ種　・高炉ｽﾗｸﾞ　・膨張材　・　)

9 ひび割れ誘発目地、打継目地

目地寸法　※T3防水改修工事　ｱｽｰﾘﾝｸﾞｊによる [6.6.3][6.8.2](8.7.3)
間隔・位置・形状　・図示(　　) [6.8.2]

10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)

・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (8.7.8)
・20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm　・

11 型枠

せき板の材料及び厚さ　・合板(※12mm　・　　)　・ (8.2.7)
断熱材の兼用　・行わない　・行う [6.8.3]
MCR工法用ｼｰﾄ　・用いる　・用いない [6.8.3]
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　図示による(　　)　・
(8.2.7)(表8.2.4)
ｽﾘｰﾌﾞの材種　※標準仕様書(8.2.7)(f)(2)及び標準仕様書(表8.2.6)による

12 型枠の加工及び部位

ｼﾌｺﾈｸﾀをｾﾊﾟﾚｰﾀーとして使用 (8.7.8)
・適用箇所　・図示による(　　)
(8.9.1)(表8.9.1)

13 軽量コンクリート

種別　・1種　使用部位(　　)　・2種　使用部位(　　)
適用箇所　・図示による(　　)　・ (8.9.1)

14 寒中コンクリート

適用期間　・図示による(　　)　・ [6.11.1]
・積算温度を基に定める場合　・図示による(　　)　・

15 暑中コンクリート

構造体強度補正値(S)　※6N/mm2 (8.10.2)

16 マスコンクリート

ｾﾒﾝﾄの種類　・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ [6.13.2]
・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉ｾﾒﾝﾄB種 ☐
・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種 ☐
・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄにJIS A 6206に適合するｺﾝｸﾘｰﾄ用高炉ｽﾗｸﾞ粉末の4000を混合したもの
適用箇所　※図示による(　　)　・
・混和材 [6.13.2]
混和材の種類　※JIS A 6206に適合するｺﾝｸﾘｰﾄ用高炉ｽﾗｸﾞ微粉末の4000G ☐
・混和剤 [6.13.2]
混和剤の種類　※JIS A 6204に適合するAE減衰材又は高性能減衰材
・

ｽﾗﾝﾌﾟ　※15cm　・

17 無筋コンクリート

無筋ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 [6.14.1]　[6.14.3]

設計基準強度(N/mm2)	ｽﾗﾝﾌﾟ	適用箇所
※18	※15又は18	※標準仕様書6.14.1(e)　・図示
・	・	
・	・	

18 流動化コンクリート

適用箇所　・図示による(　　)　・ [6.2.1][6.15.1]

19 構造用モルタル

圧縮強度(　　) (8.2.6)
ﾌﾛｰ値(　　)

8-3 建築改修工事(鉄骨工事)

1 鉄骨の製作工場

※建築基準法に基づき性能評価を受けた製作工場で、下記に認定された製作工場
・Sｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Hｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Mｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Rｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Jｸﾞﾚｰﾄﾞ (8.1.5)
・上記のもの以外の製作工場(・監督員の承諾する製作工場　・　　)

2 施工管理技術者

※適用する　・適用しない [7.1.3](8.1.5)

3 鋼材

材質等 (8.2.8)(表8.2.7)

種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格
		・JIS規格による　・・
		・JIS規格による　・・
		・JIS規格による　・・
		・JIS規格による　・・
		・JIS規格による　・・
		・JIS規格による　・・

4 高力ボルト

ﾎﾞﾙﾄの区分 (8.2.9)
・ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ　・JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ
すべり係数試験　※行わない　・行う (8.13.2)
試験方法等　・図示による(　　)　・

5 溶融亜鉛めっき高力ボルト

摩擦面の処理 [7.12.4]
・ﾌﾞﾗｽﾄ処理(表面粗度50μmRz以上)　・りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法
※すべり係数試験　試験方法等　・図示による(　　)　・

6 アンカーボルト

適用　・建方用ｱﾝｶｰ [7.2.4][7.10.3]
材質　・SS400　・
・構造用ｱﾝｶｰ
材質　・SNR400B　・
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄのねじの種類の規格、及び仕上げの程度 [7.2.4][表7.2.3]
※標準仕様書　表7.2.3による　・

7 溶接材料

溶接材料　・標準仕様書8.2.10(a)(b)による。 (8.2.10)
・標準仕様書8.2.10(a)(b)以外の溶接材料

8 デッキプレート

材質、形状及び寸法 [7.2.7]

	適用箇所	材質・形状・寸法	備考
・構造床			
・合成ｽﾗﾌﾞ			
・床型枠用鋼製ﾃﾞｯｷ			
・			

開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)　・図示による(　　)　・
鉄骨部材への溶接方法　・図示による(　　)　・ [7.7.8]
耐火認定　・有り　・無し
耐火時間　・図示による(　　)　・

9 スタッド

材質、形状及び寸法
※頭付きｽﾀｯﾄﾞJIS B 1198　・

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・16		
・19		
・22		

10 柱底均しモルタル

ﾓﾙﾀﾙの種類　※無収縮ﾓﾙﾀﾙ　・ (8.2.11)[7.10.3]
柱底均しﾓﾙﾀﾙの厚さ　・50mm　・30mm　・

11 工作図

原寸図の作成　・行う　・行わない (8.1.6)
監督員による現寸検査　・行う　・行わない
※増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上、工作図を作成すること

12 鉄骨の仮組

・行う　・行わない (8.12.9)
仮組を行う範囲　・図示による(　　)　・
確認方法、確認項目　・図示による(　　)　・

13 溶接作業者における技能資格者

溶接作業者の技量付加試験　※行わない　・行う (8.14.3)
試験の要領　・

14 溶接接合

ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞの切除の必要性　・見え掛り部となる部分(・有・無) (8.14.7)
・見え隠れ部となる部分(・有・無)

※固形ﾌﾗｯｸｽｽﾀﾌﾞの使用
固形ﾌﾗｯｸｽｽﾀﾌﾞを使用する場合はAWI検定技能会議の実施する認定試験の合格者若しくは、日本ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞ協会の実施する施工講習会受講者が施工すること。

15 耐火被覆

種別 (8.17.2)

種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹付け	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・湿式ﾛｯｸｳｰﾙ	
	・	
	・	
・耐火板張り	・繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	
	・	
・耐火材巻付け	・高断熱ﾛｯｸｳｰﾙ	
	・	
・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り	―	

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする
性能

性能	適用箇所(部位・部分)
・30分耐火	
・45分耐火	
・1時間耐火	
・2時間耐火	

16 アンカーボルトの保持及び埋込み工法

構造用ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑの形状及び寸法 [7.10.3]
・図示による(　　)　・
建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの保持及び埋込み工法 [表7.10.1]
種別　・A種　・B種　・C種

17 軽量形鋼構造

接合部(ﾎﾞﾙﾄ接合の場合)　・普通ﾎﾞﾙﾄ接合　・ [7.11.2]